

災 害 救 護 速 報

平成 28 年 10 月 24 日（月）15：00 現在
事業局 救護・福祉部 救護課
TEL：03-3437-7084/FAX：03-3435-8509

※内容・数値等は、随時更新されます

平成 28 年鳥取県中部を震源とする地震への日本赤十字社の対応について（1）

平成 28 年鳥取県中部を震源とする地震への日本赤十字社の対応は以下のとおりです。

1 災害の状況（気象庁情報）

発生時刻：平成 28 年 10 月 21 日（金）14 時 07 分頃
震央地名：鳥取県中部
震源の深さ：11km（暫定値）
規模：マグニチュード 6.6（暫定値）
震度：震度 6 弱 鳥取県：倉吉市、湯梨浜町、北栄町

2 主な被害の状況（消防庁調べ：10 月 24 日 08 時 00 分現在）

（1）人的被害

【鳥取県】重症 3 名、軽傷 14 名

【岡山県】重傷 1 名、軽傷 2 名

（2）物的被害

【鳥取県】全壊 2 棟、半壊 2 棟、一部破損 341 棟

【岡山県】一部破損 14 棟

3 災害救助法の適用

平成 28 年 10 月 21 日に、鳥取県内の 3 市町において、継続した救助活動が必要とされるため、災害救助法が適用。

4 避難所開設（消防庁調べ：10 月 23 日 19 時 00 分現在）

1 市 4 町 25 ヶ所（避難者約 655 名）

5 日本赤十字社の対応

(1) 体制

○鳥取県支部 10/21 災害対策本部を設置し、情報収集等を実施。
支部職員、夜間3名支部待機。

○本社 10/21 第2次救護体制にて情報収集等を実施。

(2) 救護活動等

○鳥取県支部

10/21 14:10 支部災害対策本部設置。

14:38 鳥取県危機管理局にて情報収集。

15:30 被災地のアセスメント実施のため先遣隊（医師1名、看護師1名、事務職員1名）を派遣。

倉吉市、北栄町、湯梨浜町、琴浦町でニーズアセスメント実施。

18:30 鳥取赤十字病院DMATを派遣し、断水等に伴う倉吉市の病院の患者転院活動を支援。鳥取赤十字病院に透析患者等2名を受入れ。

20:58 県災対本部会議に出席。

21:10 県医療調整本部にて救護班の活動調整。

10/22 6:30 鳥取県支部救護班（鳥取赤十字病院）1班を倉吉市に派遣し、8カ所の避難所を巡回、アセスメントを行い、計34名の診察を実施。

10:00 県災害対策本部会議に参加。

13:00 県災害医療コーディネーター会議に出席。

14:00 救護班看護師長等が鳥取県中部災害医療コーディネーター会議に出席。

19:00 県災害対策本部会議に参加。

10/23 10:00 県災害対策本部会議に参加。

11:45 支部職員2名を被災地に派遣し、ニーズ調査を実施。

(3) 救援物資の配布

10/21 23:35 支部職員、血液センター職員、防災ボランティアリーダーを救援物資配送のため、倉吉市役所へ派遣。
毛布980枚、緊急セット48セット、安眠セット16セットを配布。

10/23 湯梨浜町、三朝町に緊急セット30セット、安眠セット30セットを配布。

(4) ボランティアの活動

鳥取県支部のボランティアが、災害対策本部の運営補助、先遣隊への帯同、救援物資輸送、炊き出しを実施。



湯梨浜町長から説明を受ける先遣隊



避難所で安眠セットを配布